

あんず だより

2026

VOL.22

令和8年7月1日発行

創立80周年企画 現在～未来へ 2

内視鏡検査のご案内 4

認定看護師コラム 特定看護師 5

市民のための健康講座 6

遥ばると一集いし人々とともに 大西益太郎伝 その22 7

外来担当医一覧表 8



これからも千曲中央病院をよろしくお願いいたします

診療科案内

- ☐ 内科
- ☐ 肝臓・消化器内科
- ☐ 腎臓内科
- ☐ 循環器内科
- ☐ 呼吸器内科
- ☐ 糖尿病・内分泌・代謝内科
- ☐ 消化器外科
- ☐ 肝臓・胆のう・膵臓外科
- ☐ 整形外科
- ☐ 脳神経外科
- ☐ 心臓血管外科
- ☐ 泌尿器科
- ☐ 皮膚科
- ☐ 婦人科
- ☐ 形成外科
- ☐ 救急科
- ☐ 放射線科
- ☐ 麻酔科
- ☐ リハビリテーション科
- ☐ 歯科
- ☐ 人工透析センター
- ☐ 心臓病センター



CHIKUMA CENTRAL HOSPITAL

TEL.026-273-1212 FAX.026-272-2991

URL <http://www.chikuma-chp.com>



千曲中央病院
ホームページ



現在～未来

社会医療法人大西会 千曲中央病院
理事長・院長 大西 禎彦



CHIKUMA CENTRAL
HOSPITAL

80th
Anniversary

創立80周年を 迎えて

これまでの感謝、
これからも地域とともに

特集

千曲中央病院は本年、創立80周年という大きな節目を迎えました。これまで当院を支えてくださった地域の皆さま、関係機関の皆さまに心より感謝申し上げます。

本稿では、当院の歩みを振り返るとともに、現在の姿、そして未来への展望についてお伝えいたします。

当院の歴史は、創設者・大西益太郎の強い信念から始まりました。益太郎は「地域の人々が安心して医療を受けられる場所をつくりたい」という一念のもと、医療資源の乏しい時代にあっても地域医療の礎を築きました。単に病を治すだけでなく、患者一人ひとりの生活や人生に寄り添う医療を重視したその姿勢は、今日に至るまで当院の原点として受け継がれています。

その志を引き継いだ2代目・大西雄太郎は、時代の変化を的確に捉えながら病院の発展に尽力しました。医療需要が急速に拡大する中で、診療体制の整備や病床機能の充実を図るとともに、「地域と

ともに歩む病院」という理念を実践の形へと昇華させました。また、人材育成にも力を注ぎ、多くの医療人を育て上げたことは当院の大きな財産となっています。益太郎の「志」と雄太郎の「実行力」によって、当院は地域に根差した医療機関としての確固たる基盤を築いてまいりました。

そして令和7年10月、当院は新たに社会医療法人として認定され、さらなる一步を踏み出しました。社会医療法人は、地域に不可欠な医療を安定的かつ継続的に提供する使命を担う存在です。この認定は、これまで当院が果たしてきた役割が評価されたものであると同時に、今後に向けた大きな責任を意味しています。地域医療の中核を担う医療機関として、より公益性の高い医療提供体制を構築していくことが求められています。

しており、多職種が連携するチーム医療の重要性はますます高まっています。医師、看護師、コメディカルスタッフが一体となり、患者さん一人ひとりの生活背景に寄り添った包括的な医療を提供しています。また、医療DXの推進や業務効率化にも取り組み、限られた医療資源の中で質と安全性の向上を図っています。

一方で、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。少子高齢化の進展により医療需要は一層高度化・多様化し、医療従事者の確保と育成は喫緊の課題です。また、地域医療構想の進展に伴い、医療機関には役割分担の明確化と連携の強化が求められています。当院においても、地域包括医療病棟の運用や在宅復帰支援の充実を通じて、地域の中で果たすべき役割をさらに明確にしていくな必要があります。

今後の課題として、第一に人材の確保と育成がありま

す。医療人がやりがいを持って働き、成長できる環境づくりが不可欠です。第二に、地域の皆さまから「信頼され、選ばれる病院」であり続けるための取り組みです。医療の質の向上に加え、接遇や情報発信の充実を図ってまいります。さらに、災害医療や感染症対策など、社会的要請への対応力の強化も重要な使命です。

創設者・益太郎が掲げた「地域に寄り添う医療」、そして雄太郎が体現した「時代に応じて進化する病院」、さらに社会医療法人としての新たな使命。この三つを礎に、千曲中央病院はこれからの時代に向けて歩み続けます。80年の歴史は通過点に過ぎません。次の時代を見据え、職員一同が一丸となって地域医療のさらなる発展に貢献してまいります。今後とも千曲中央病院への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



認定看護師コラム



はじめまして。特定看護師の宮坂です。
特定看護師と言う名前に馴染みがない方も
多いのではないのでしょうか。



特定看護師が行う「特定行為」とは

特定行為とは厚生労働省が指定する38のより専門的な診療の補助行為を指し、厚生労働省が指定する所定の研修を修了した看護師が、医師が作成した手順書に従い特定行為を実施することができます。この特定行為を行う看護師のことを当院では「特定看護師」と呼んでいます。



主な活動内容



私は脱水症状に対する補液・高カロリー輸液の調整などの点滴に関する事や、動脈からの採血、動脈圧カテーテル挿入や中心静脈カテーテルの抜去などの特定行為を行っています。活動場所は外来・病棟など院内様々な場所で活動をしています。

気温の上がるこれからの時期は脱水症に注意が必要です！

脱水症の主な症状

- 強い倦怠感
- おしっこがいつもより少ない
- のどの渇き(普段より口の中がカサカサに渇くなど)
- 重症になると、めまいや意識がもうろう



お家でできる 脱水症予防の ワンポイントアドバイス

- ① 出かける前にはしっかり水分を摂る
- ② 寝る前にもコップ一杯の水分を摂る
- ③ 食べやすいもので水分を摂る



人の体は、目に見えないだけで常に皮膚や呼吸によって水分を失っています。特に気温の上がる夏場は自分が思っている以上に水分が失われています。平均的な成人男性の場合、真夏日で「コップ約1~2杯分」普段より水分が失われます。お出かけ前にはしっかりと水分を摂りましょう！



また、寝ている間も汗は出ています。朝起きたら口の中がカサカサと乾いている。喉が渇いていて水を一気に飲みます。そんな経験はありませんか？湿度の問題だけではなく、寝ている間に水分が足りなくなっている可能性があります。寝る前にもコップ一杯の水分を摂りましょう！

夏バテで食欲がない時、フルーツやゼリーで水分や栄養を摂ることも一つの手段です。スイカやイチゴは水分が多く、100gで約90mlの水分が含まれています。普通サイズのイチゴであれば6個程度で100gです。これであれば小さなお子さん、おやつにちょうどいいですね。



その他に、カップのゼリーやゼリー飲料などは大半が水分でできています。食欲がない時もツルッと食べられるので、水分・栄養分の補給には最適だと思います。しっかりと対策を取って、健康で楽しい夏を迎えましょう！

内視鏡検査のご案内

鎮静剤で “眠っている間に” 内視鏡検査 女性医師による 内視鏡検査



「内視鏡検査は苦しそう」「検査に不安がある」「できれば女性の医師に診てもらいたい」——そのような理由から、検査をためらっている方はいらっしゃいませんか。



千曲中央病院では、患者さんに安心して内視鏡検査を受けていただけるよう、検査体制の充実に努めています。

当院には女性医師が2名在籍しており、女性医師による内視鏡検査をご希望の方にも対応しています。特に女性の患者さんの中には、「異性の医師だと緊張してしまう」「検査に抵抗がある」という方も少なくありません。そうしたお気持ちに配慮し、できる限り安心して検査を受けていただける環境を整えています。ご希望がある場合は、予約時や受診時にお気軽にご相談ください。

また、当院では鎮静剤を使用した内視鏡検査を行っています。鎮静剤を使用することで、眠った



消化器内科
小野医師



消化器内科
淵野医師

ようなリラックスした状態で検査を受けることができ、検査中の苦痛や不快感を大きく軽減することが期待できます。そのため、「以前受けた内視鏡検査がよかった」「嘔吐反射が強くて心配」「初めての検査で不安がある」という方にも、安心して検査を受けていただけます。



※鎮静剤の効き方には個人差があります。
※鎮静剤を使用した場合、検査後は安全のため車の運転はできません。
ご来院の際は、ご家族による送迎や公共交通機関のご利用をご確認ください。

胃がんや大腸がんをはじめとする消化器疾患は、早期発見・早期治療が大切です。症状がない段階でも、定期的な検査によって病気を早期に見つけられる場合があります。

当院では、患者さん一人ひとりの不安や疑問に寄り添いながら、安心して検査を受けていただけるようサポートしています。内視鏡検査について気になることやご心配なことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



すでに校医から連絡を受けていた家人達は、帰郷した益太郎を心配しながらも温かく迎えた。「兄ちゃん、去年一年間頑張りましたね。ゆっくり休んで行けや」

「忠雄の言う通りだ。無理しちゃうまいかん。先のある体だ」

しかし、弟達や祖父、父親らのそうした言葉を聞くたびに、益太郎の心の苦しみは増した。

「弟や父達は、家業のこれからを考えると、不安で一杯なはずだ。それなのに、そんなことは一言も

言わないで、自分のことを思ってくれる。それなのにこの俺は、何という弱虫だ。しかし今の俺には……」

益太郎の心は、こうした肉親の思いをも、ばねにできないほど、衰弱していた。

日が経つに連れ、むしろふさぎ込む様子の彼を心配した高蔵は、ある人物に相談してみることを思い立った。それは益太郎の名付け親の新村寅次郎だった。屋代の町長となつていた彼は、ある事件に腹を立て、時の県知事を辞任に追い込んだほどの人物で、行動家であり直情径行の人として知られていた。高蔵は以前から、そんな新村と不思議に気が合い、付き合いを続けていた。

なお、当時の屋代の町は、こう

したタイプの人物を幾人か輩出している。豪農の家に生まれ、明治四十三年の大逆事件で逮捕・刑死したクリスチャンで無政府主義者の新村忠雄と、その兄で同じく無政府主義者であり、同事件の裁判費用五〇〇〇円をすべて負担した善兵衛もこの町の出身である。また、戦前の滋賀・神奈川県知事で清廉潔白・直情の人として知られた近藤穠太郎も屋代に生まれている。近藤は昭和五十二年、益太郎の病院で亡くなっている。

彼を伴い新村のもとを訪れた高蔵は、事情を話して「孫を何とか立ち直らせてほしい」と頼んだ。「わかりました」と一言言って、本人から事情を聞いた彼は、すぐにこう応えた。「これは神経衰弱というやつだ。要は気の問題だ。それがシャンとすれば大丈夫。私がいいところを教えよう」

神道を信奉する彼が紹介したのは、当時軽井沢にあった禊の道場だった。禊とは古来、体についた罪やけがれを払うためにおこなう行のことで、当時は若者の精神修養やこうした病気の治療の場にも



近藤穠太郎
(1894-1977)
内務官僚、弁護士。
滋賀県知事、
神奈川県知事を歴任。

こうして益太郎は翌日、列車で軽井沢へと向かった。(続く)

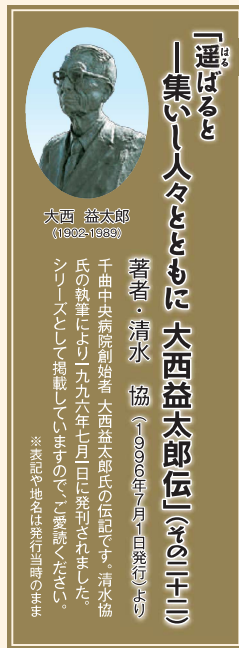
「なに、町長の言うように気という奴を直すなら、こっちの方が専門家だ。まずは信じて行ってみるといい」

すると祖父は、笑顔を浮かべながら答えた。

「おじいさん、神経衰弱は判っていたし、大学の先生が診ても治らなかったのに、本当に大丈夫でしょうか……」

町役場からの帰り道、益太郎は祖父に、心に浮かんだ疑問を尋ねてみた。

「おじいさん、神経衰弱は判っていたし、大学の先生が診ても治らなかったのに、本当に大丈夫でしょうか……」



※表紙や地名は発行当時のまま



特別講演
Special Lecture

千曲中央病院創立80周年記念

第14回 市民のための健康講座を開催しました

令和8年6月6日(土)、千曲中央病院創立80周年記念事業の一環として、第14回市民のための健康講座、メインテーマ『楽しく生きよう』を開催いたしました。

当日は、諏訪中央病院名誉院長・地域包括ケア研究所長の鎌田實先生をお迎えし、「がんばらないけどあきらめない～人生100年時代を健康で幸せに生きる～」と題して特別講演をしていただきました。

会場には500名を超える皆さまにご来場いただき大変な盛況ぶりとなりました。

講演では、健康寿命を延ばすために食事や運動などの生活習慣で気を付けること、無気力・無関心・無感動とならないために趣味を持つことなどが必要であることや、「誰かのために生きる」として、ボランティア活動をしている高齢者は、していない高齢者に比べ高血圧リスクが40%も少ないことがあげられ、家柄・学歴・収入よりも良い人間関係が人間の幸福と健康を高めると講演されました。

人とのつながりの大切さ、前向きな気持ちで日々

を過ごすことの意義などについて、鎌田先生ならではの豊富な経験と温かな語り口でお話いただきました。ユーモアを交えた分かりやすいお話に、時折会場から笑いがこぼれるなど、会場は終始和やかな雰囲気包まれ、来場者の皆さまは熱心に耳を傾けておられました。

講演終了後には多くの方から「元気をもらった」、「これからの人生を前向きに考えるきっかけになった」、「わかりやすく大変良かった」といった感想が寄せられ、大変有意義な講演会となりました。

ご多忙の中ご参加いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。

また、講演の冒頭、主な死因の割合の22.2%が循環器疾患によるものであり、公立病院ではない千曲中央病院がアブレーション治療に取り組んでいることについて鎌田先生からお褒めの言葉もいただきました。当院はこれからも地域の皆さまに信頼され、健康と安心を支える病院として、さまざまな取り組みを続けてまいります。



外来担当医一覧表

(令和8年7月1日現在)

診療科	専門		月	火	水	木	金	土 ※午前のみ
内科	一般内科	午前	大塚		松本(史)			月城 (第3週土のみ)
		午後				市川(智)		
	消化器	午前	窪田 石田	宮林 小野	窪田 洲野	宮林(肝臓外来) 石田		宮林・窪田 松本(晶) 石田
		午後	石田	昭和大医師	昭和大医師 (受付16:00まで)	宮林(紹介のみ) 松本(晶)・石田	松本(晶)	
	内分泌代謝	午前		島田	横田	春日(予約のみ)	関戸	
		午後	山内 (受付16:00まで)	島田 (受付15:00まで)	横田 (受付15:00まで)	春日 (予約のみ)	横田(受付15:00まで) 関戸(受付15:00まで)	
	腎臓	午前				大西禎彦	大西禎彦	
		午後	大西禎彦					
	呼吸器	午後のみ		神田(第2・4週のみ)				津島(第4週のみ) (受付11:00まで)
外科	一般外科 消化器外科 肝胆脾外科	午前		長谷川 大久保		加藤	大久保	大久保(肝臓外来/ 予約制第3・5週のみ) 加藤 (第1・4週予約のみ)
		午後		加藤				
	心臓外科	午前					八巻	
		午後						
一般整形	一般整形	午前	佐藤	江崎	澤田		石塚	信大医師 (受付11:00まで)
		午後	佐藤 (受付16:00まで)	江崎 (受付16:00まで)	澤田 (受付16:00まで)		石塚 (受付16:00まで)	
	膝・股関節	午前	森岡(9:30~)		森岡(9:30~)			
		午後					森岡(予約のみ)	
	脊椎脊髄	午前		矢澤		矢澤(予約のみ) (紹介のみ)	矢澤	
		午後			矢澤(骨粗鬆症) (予約のみ)			
脳神経外科		午前	市川	市川	斎藤	市川	市川	
		午後						
泌尿器科		午前	逸見 (予約外の受付11:00まで)	逸見 (予約外の受付11:00まで)		逸見 (予約外の受付11:00まで)	逸見 (予約外の受付11:00まで)	逸見(予約のみ)
皮膚科	予約制	午前	今井	今井	今井	今井		
		午後	今井(受付16:00まで)		今井(受付16:00まで)	今井(受付16:00まで)		
婦人科	完全予約制	午後	山本(14:00~16:00)					
形成外科	※午後の予約外は 要相談	午前			宮澤(季) (第2・4週のみ) (受付15:30まで)			
		午後						
救急科		午前 午後	岡田					
歯科		午前 午後	大西聖彦・大西真理					

1. 午前受付 8:00~12:00
2. 午後受付 12:00~17:00

【午前診察】 9:00~

【午後診察】 14:00~ ※土曜日は午前中のみ

3. 急患等でお待たせする場合がありますが、
その際はご容赦ください。

4. 休診日：日曜日・祝祭日、第2土曜、第3木曜、
年末年始、7月1日(創立記念日)

5. 医師の都合により急遽休診・変更となる場合がございますので、ご了承ください。

6. 予約および予約変更の受付 月~金曜日
15:00~16:00(歯科は除く)